



アンテナ 出東

発行/出東コミュニティセンター企画広報部 お問い合わせ/TEL 0853-62-5033 FAX 0853-62-5039

●世帯数 ……1,320戸
●人口 ……3,755人
男性/1,858人 女性/1,897人
令和8年4月30日現在



夫の幸康さんと季節ごとに様々な野菜を栽培する「玉ちゃんアートファーム」を経営する喜久代さん。ユニークなのは、カマキリなど肉食の昆虫を害虫駆除に使用し、まったく農薬を使用しないその栽培方法。

一方で、なんとも奇妙な生き物たちを描く作家としての顔を持つ玉木さん。彼女が描く世界には、不思議な生き物がイキイキとした表情で溢れ出す。



と描くようになった。

玉木さんは自身を、変態アーティストと呼ぶ。昆虫が成長とともに形を変化させていく生物学としての、変態。サナギが蝶となり飛び立つ、この神秘的な生き物の営みを見つめ、そこから玉木さんの作品は生まれる。また自らを重ね「自分の成長とともに変化し飛翔する」とも。

玉木さんの指から生まれる不思議な作品からは、生き物の多様性や生命の息吹き、命の大切さの思いが込められている。人と接し、人とのつながりを大切に、ご縁に支えられた人生、だと振り返る。今後は、農業とアートを軸にじっくり腰を据え、個展やSNSでの発信に傾注していきたいと話す。

指先から生まれる 不思議なアートの世界

Kirari shuttoubito

キラリ 出東 びと

大和自治会
玉木喜久代さん(72)



人権について考えてみよう (Vol.12)



親子(家族)ではなしあってみよう!!
~「ちがいのちがい」人権 Quiz~

ルール 「あってもよいちがい」は○、「ない方がよいちがい」は×と考えます

<問題1>
Aさんの家では、朝食にパンを食べるが、Vさんの家では、朝食にご飯を食べる。



<問題2>
中学校のマラソン大会では、男子は6km走るのに、女子は4kmしか走らない。



小学校の学習公開で取り上げられた「人権Quiz」を紹介します。親子(家族)ではなしあってみてくださいね。

みなさんは「あってもよいちがい」と思われますか? (○)、「ないほうがよいちがい」だと思われますか? (×)

皆様のご家庭、地域、職場で人権について考えるきっかけとして活用していただき、多くの皆さんの「人権への気づき」へつながり、一人ひとりが尊重される社会の「築き」につながっていくことを心から願っています。

3月
7日

専門部合同研修を実施

土

出東コミュニティセンター専門部研修

コミセン専門部の皆さん29人で大山町所子地区を訪ねる合同研修を行いました。大山の麓にひっそりとたたずむこの地域は、昔ながらの農村の暮らしが今も息づいており、伝統的建造物群保存地区にも指定されています。保存会のガイドの方に町並みや歴史について説明を受け、歴史や民俗・風習など学びました。雨の予報の中、研修中は天候に恵まれ、ゆっくりと見学することができました。



午後からは、米子市の造り酒屋・稲田本店にて酒造見学を行い、伝統ある酒造りの工程や歴史について説明を受け、地域に根ざした産業の理解を深める貴重な機会となりました。

今回の研修を通して、地域の文化や歴史、産業について改めて学ぶことができ、今後の活動に生かしていきたいと感じる一日となりました。

4月
13日

月

防災備蓄品を寄贈いただきました



出東地区災害対策委員会

建物共済や農機具共済などの農業保険を扱うNOSAI島根(島根県農業共済組合)より、地域の防災活動に役立てると、出東地区自治協会に防災テント8張と防災マット10枚が寄贈されました。村上理事より目録を渡された高島自治協会長は「宍道湖に接しており常に災害の危険がある地区なので、災害対策委員会として万が一に備えさせていただきます。大変ありがたいこと」と謝意を述べました。

寄贈を受けた防災用品は、先般コミセン敷地内に完成した防災備蓄倉庫に入れられ、災害時の避難所開設時に活用されることとなります。大変ありがとうございました。



▲村上理事(右)より目録を受け取る高島自治協会長

4月
18日

土

活動計画案や組織改変案など承認 —自治協会総会—

出東地区自治協会



令和8年度に選出された出東地区51地区の自治会長が参加し、第1回自治協会総会がコミセンを会場に開催されました。高島自治協会長より「深刻な少子高齢化や自治会加入率の低下など諸問題が山積する中、地域全体で課題解決を図っていく必要があること、市長要望活動で貴重な意見を広く求めたいことなど、自治協会組織改変を提案したい」とあいさつ。

従来個別に開催されていた出東地区健康づくりの会と環境保全連合会出東支部の各総会を、本年度より一本化し、令和7年度の事業報告や本年度の計画・予算案など説明が行われました。組織改編案も含め提出された議案は、すべて承認され、自治協会の新しい顔ぶれで執行されることになりました。

最後に出東地区消防後援会や出東小学校教育後援会などの各団体から本年度会費のお願いがあり、自治会長の方々は納付期限など真剣な面持ちでメモを取っていました。

4月
15日

水

高校探求事業に参画 ～地域の未来をともに描く～

出東コミュニティセンター・子育て部



平田高校の探求学習に参画し、生徒へのプレゼンテーションを行いました。当日は、子育て部の部長・副部長が出東地区の魅力や現状について紹介するとともに、地域が抱える課題

についても率直に伝えました。そのうえで、「お腹を満たす+〇〇」というテーマを掲げ、地域ならではの新しい食堂づくりを提案。単に食事を提供する場ではなく、人が集い、つながりが生まれる“もう一つの価値”を加えた場を一緒に考えてほしいと呼びかけました。

生徒の皆さんからは、地域資源を活かしたアイデアや、若い視点ならではの柔軟な発想が期待されます。今回の取り組みを通して、地域と高校生がともに学びあい、新たな可能性を見出ししていくことを目指しています。今後の展開にもぜひご期待ください。

5月
16日

土

おやきづくりで世代間交流

自主企画事業/高齢者福祉部

出東コミセンで「おやきづくり交流会」が開催され、高齢者から子どもまで19人が参加しました。高齢者福祉部で事前に摘んだもぎを準備し、参加者みんなで生地をこね形を整えるまで挑戦。子どもたちも初めてのチャレンジに大はしゃぎで、世代を超えた交流の場となりました。焼き上がったおやきは砂糖醤油で美味しくいただき、参加者からは「楽しかった」「また参加したい」と笑顔が見られました。地域の伝統やふれあいを大切にしながら、今後も交流の輪を広げていきたいと思います。



5月
23日

土

自治会防災委員の方々を対象に研修会を開催

出東地区災害対策委員会



近年、自然災害が頻発化・激甚化している状況にあって、自治会内での防災活動の重要性が増えています。そこで、本年度から自治会長とは別に「自治会防災委員」を設け、避難行動要支援者のサポートや、災害発生時に自治会内の安否確認などを行っていただくことにしました。

この自治会防災委員の方々を対象に防災研修が行われ、出

雲市建築住宅課から、住まいの耐震化について、昭和56年の建築基準法改正前後の家屋で耐震強度が大幅に違うことを住宅模型を使って実験し、同じ震度でも倒壊を免れることを学んでいました。

その後、自治会世帯の安否確認表作成の提案など行われ、参加した一人は「1月にあった地震の後だけに、興味深い研修だった。安否確認表は万が一に備えてぜひ作成したい」と意気込んでいました。



5月
26日

火

空へつながれ! みんなの連凧づくり

出東コミュニティセンター



地域ボランティアの方々10人で、連凧づくりを行いました。カラービニールにペンで子どもたちの喜びそうな絵を描き、36枚の凧を製作しました。

楽しく話をしながらの作業は、笑いあいの和やかな交流の時間となりました。完成後は、屋外に出て

実際に凧あげの練習も行い、さほど強くない風ながら連なった凧が空高く舞い上がると、歓声と拍手が湧きあがりました。参加した人からは「初めてにしては上出来、うまくできたなあ!」「これならきっと子どもたちも喜んでくれるはず」との声が聞かれました。

出来上がった連凧は、6月10日に出東こども園の園児たちと一緒に凧上げをして楽しむ予定になっています。



◀コラム▶

地域のために頑張ってます!!

出東遺族会

出東遺族会では、毎年6月の第2日曜日に松江護国神社参拝(昨年度は32名参加)と、9月第3日曜日に出東地区慰霊祭を、地区社会福祉協議会の協力のもと執り行っています。

戦後81年が経過し人々の意識も薄れ、忘れられそうになってきました。斐川町遺族会では、このままでは戦禍の記憶が風化してしまうのではないかという思いから、語り部活動を5年前から本格的に行っています。出東遺族会でも令和6年、7年と行ってきました。今年も9月20日(日)の慰霊祭の後、戦前・戦中の戦争遺跡などについて、戦争遺跡を中心にフィールドワークを続ける写真家で、どこでもミュージアム研究所の代表、高嶋敏展さんをお願いし、出東コミセンで講演をしていただく予定です。

出東遺族会の方だけでなく、地区内外から多数の方に参加していただければと考えています。

出東遺族会 会長 桑原 一郎



5月
30日

土

新緑の中、爽快にウォーキング

自主企画事業/健康推進部

好天に恵まれた絶好のウォーキング日和の中、出東地区健康づくりの会、出東地区社会福祉協議会、出東小PTAの共催で健康ウォークが行われました。大人から子どもまで48人が参加し、荒神谷遺跡公園から、武部を通過して西光院で休憩し、荒神谷博物館までの5.5kmのコースを歩きました。

青々とした新緑の中、隣の人とおしゃべりしたり、銅剣の出土場所を見たりとそれぞれウォーキングを楽しんでいました。歩き終わった後は、荒神谷博物館で健康に関する展示物を見ながら、配られたおにぎりを食べ解散しました。



開港60周年を迎える 出雲空港

写真提供:出雲市



今年60周年を迎える出雲空港は、昭和41年に開港。6月30日の供用開始だったが、初便は7月11日、東亜国内航空による大阪便からだ。同日の隠岐便は悪天候のため欠航、翌日が初就航となった。

出雲市斐川町沖洲にある地方管理空港で、空港総面積566,341㎡、運用時間は7時30分から20時30分まで。出雲大社の縁結びの神様に因み「出雲縁結び空港」の愛称で親しまれている。

滑走路は東西方向に2,000mで、一部突道湖に突き出るような形で配置されている。平



行誘導路は無く、滑走路両端にターニングパッドを備えている。着陸帯の幅は150mと狭く、着陸誘導用にローライザーが設置されている。これにより、計器着陸装置の一部として飛行機の進入コースを水平方向に正確に案内し、安全な着陸をサポートしている。

令和7年度の年間利用者数は1,135,976人で、初めて110万人を超えた。日本の三大都市圏である東京(羽田)、大阪(伊丹)、名古屋(中部・小牧)と空路で結ばれており、中国地方の空港で三大都市圏全てから直行便を有する唯一の空港である。

古地を訪ねて

出東歴史散歩 Vol.17



写真提供:出雲市

出雲空港の沿革

昭和41年 6月30日	島根県営出雲空港として開港。 滑走路1,200m×30m
昭和44年 8月1日	運用時間9:30~17:30
昭和45年 12月25日	滑走路延長・拡幅。1,500m×45m
昭和55年 6月20日	出雲空港ターミナルビル株式会社設立
昭和60年 11月20日	運用時間8:00~19:30
平成 3年 3月7日	滑走路延長(1,500m→2,000m)供用開始
平成10年 7月17日	空港運用時間が1時間半延長され、 7:30~20:30までの13時間になる
平成10年 9月21日	累計乗降客1,000万人達成
平成17年 5月10日	累計乗降客1,500万人達成
平成22年 7月6日	「出雲縁結び空港」に愛称化
平成24年 5月24日	累計利用者2,000万人達成
平成28年 8月5日	開港50周年記念式典開催
平成29年 5月16日	累計利用者2,500万人達成
令和 元年 3月27日	年間利用者100万人達成
令和 6年 10月11日	累計利用者3,000万人達成
令和 7年 3月	年間利用者104万人達成(過去最多)
令和 8年 3月	年間利用者113万人達成(過去最多)

令和8年度 出東地区自治協会役員

会長	高島 俊司(会所)	理事	藤岡 牧雄(中洲中組)	〈参 与〉	井上 修(出雲市消防団出東分団長)、常松 幹夫(出東地区防犯協力会)、足立 和久(出東地区交通安全対策協議会)、藤岡由理子(出東地区障 碍教育推進協議会)、植田 義久(出東地区青少年育成協議会)、美多 大宏(出東小学校教育後援会)、勝部 功人(出東地区土木委員会)、嶋田 慎司(出東地区児童児童委員協議会)、中間 敦司(出東地区社会福祉協議会)、飯塚 由美(更生保護女性会出東支部)、古川 康徳(出東地区スポーツ協会)
副会長	三島富美夫(上の島)	理事	露梨 克明(サニータウン)		
副会長	飯塚 誠(川東上組)	理事	湯原 陽樹(六丁場)		
副会長	池田 千寿(淀下)	理事	岡田 和人(協生1)		
理事	落合 勝美(川東中組)	事務局長	竹下 弘(出東コミュニケーター)		
理事	古川 裕史(黒目新田)	事務局長	大森 有紀(出東コミュニケーター)		
理事	中間 直樹(昭和)				

令和7年度 出東地区自治協会決算

【収入】 (単位 円)

費 目	予算額	決算額	増 減	備 考
自治協会費	1,158,300	1,149,900	△ 8,400	1,300円× 885世帯
行政連絡業務委託料	65,000	66,500	1,500	要支援者個別避難計画作成負担金 行政連絡業務委託料
繰越金	1,178,661	1,178,661	0	前年度より
雑収入	1,039	56,658	55,619	貯金利息、つなごう出東トート バック売上金、災対活動補助金
合計	2,403,000	2,451,719	48,719	

【支出】

費 目	予算額	決算額	増 減	備 考
事務費	48,000	82,514	34,514	はがき、コピー、名刺、 ゴム印他
会議費	40,000	60,339	20,339	総会・理事会他
コミュニティセンター 運営協力金	710,000	710,000	0	コミセン活動、文化祭、 自主企画事業負担金他
事業費	460,000	465,819	5,819	
研 修 費	30,000	0	△ 30,000	
もちつき会	50,000	24,431	△ 25,569	
出 東 たなばた会	150,000	149,288	△ 712	
活 動 費	230,000	292,100	62,100	防犯協力会 30,000円、 青少年協 30,000円、 同推協 30,000円、 青パト 34,000円、 担い手 31,625円他
負担金	30,000	44,000	14,000	斐川地域自治協会連合会
旅費	11,000	11,000	0	マイカー使用交通費
積立金	100,000	100,000	0	積立金通帳へ
手数料	5,000	3,025	△ 1,975	会費納入手数料
雑費	4,000	4,260	260	慰霊祭ご霊前料他
予備費	995,000	0	△ 995,000	
合計	2,403,000	1,480,957	△ 922,043	

令和8年度 出東地区自治協会予算

【収入】 (単位 円)

費 目	8年度予算額	7年度予算額	増 減	備 考
自治協会費	1,112,800	1,158,300	△ 45,500	@1,300円× 856世帯
行政連絡業務委託料	66,500	65,000	1,500	要支援者個別避難計画作成負担金 行政連絡業務委託料
繰越金	970,762	1,178,661	△ 207,899	前年度より
雑収入	50,938	1,039	49,899	貯金利息、 災害対策活動補助金等
合計	2,201,000	2,403,000	△ 202,000	

【支出】

費 目	8年度予算額	7年度予算額	増 減	備 考
事務費	50,000	48,000	2,000	はがき、コピー、名刺他
会議費	60,000	40,000	20,000	総会、役員会他
コミュニティセンター 運営助成金	700,000	710,000	△ 10,000	コミセン活動助成、文化祭、 自主企画事業地区負担金他
助成金	84,000	0	84,000	防犯協力会 30,000円、 青パト 34,000円、 同推協 20,000円、 令和7年度は活動費に含まれて いたものを今年度より費目を新設
事業費	400,000	460,000	△ 60,000	
もちつき会	50,000	50,000	0	
研 修 費	50,000	30,000	20,000	災害対策委員会
出 東 子 ども たなばた会	150,000	150,000	0	
活 動 費	150,000	230,000	△ 80,000	健康づくりの会、広報紙、 新成人担い手事業、 災対活動等
負担金	44,000	30,000	14,000	斐川地域自治協会連合会負担金 出雲市自治協会連合会負担金他
旅費	11,000	11,000	0	
積立金	100,000	100,000	0	
手数料	5,000	5,000	0	会費納入手数料他
雑費	4,000	4,000	0	
予備費	743,000	995,000	△ 252,000	
合計	2,201,000	2,403,000	△ 202,000	

※令和4年度から、2ヶ年ごと暫定的に自治協会費を1,700円から1,300円に減額据え置きとしています。
令和8年度も据え置きとしますが、令和9年度以降は会計その他状況を見据えながら決定します。

香典返し寄付金について

出東地区自治協会では、皆様方からいただいた香典返し寄付金を特別会計として、出東地区社会福祉協議会へ配分し福祉事業に役立てていただいているほか、地域活動の支援などに活用させていただいています。

令和7年度、自治協会へ**614,000円**のご寄付をいただき、地区社協390,000円をはじめ、昨年10月に設立された「たすけあい出東」へ100,000円助成したほか、多くの団体にご活用いただくゼンリンデジタル版と、災害時などに屋外で使用する折りたたみ机10台の購入費181,092円をコミセンに助成しました。

また、令和6年度からは3,807,532円を繰越金として歳入し、8年度へは3,752,600円を繰越しました。皆様方のご厚志、誠にありがとうございました。

●配分を希望される団体は、出東コミュニティセンターまでお申込みください。

5月
19日 火

たいへんお世話になりました。

—サークルによるコミセン草刈り—



日頃コミセンを利用し活動している陶芸クラブとそば打ち同好会の方々11人で、敷地内の広場の草刈りをしていただきました。多くの方が刈払い機や自走式の草刈り機を持参し手際よく作業を開始。刈った草も回収し人海戦術であったという間にきれいな状態になりました。



多くの方々にご協力いただき、コミセン周りが見違えるようになりました。みなさんありがとうございました。

ハーモニカサークル グリーンリバー

音楽で心を癒そう!

長らく「出東ハーモニカクラブ」で活動を続けていましたが、3年前に同じハーモニカの愛好者団体「グリーンリバー」と合流し、活動を行っています。

グリーンリバーの名称は、音楽を奏でることにより心を癒し、なにより楽しむことを目的とし、「斐伊川」をイメージしてネーミングされたものです。

ひと昔前までは庶民的な楽器だったハーモニカ。何とも言えない哀愁を奏でる音色に惹かれ、アンサンブル演奏を充実させ、5名のメンバーが月1〜2回のペースで出東コミセンを会場に練習。皆さんにも聞いていただきたいと高齢者サロンなどで発表しています。

小学生の時に習った経験がある方も多いハーモニカ。興味のある方、これから始めてみたい方、私たちと一緒にハーモニカ演奏を楽しみましょう。お問い合わせは出東コミセンまでお願いします。



Follow Me! //

Instagram

出東コミュニティセンターのInstagramやってます！最新情報をアップしています。フォローよろしくお願ひします。

@SHUTTOUCC

INFORMATION

出東コミュニティセンターや地域各団体の主催事業・活動で、撮影した写真をアンテナ出東や、コミセンホームページ、インスタなどのSNS等で掲載させていただく場合があります。あらかじめご了解よろしくお願ひします。

地域の美化活動を応援します

出雲市環境保全連合会出東支部では、今年度から自治会や地域団体による美化活動を支援する事業を始めました。地域で自主的に花植えやゴミ拾いなどの環境美化活動を行う際は、申請により支援を行います。

申請書は、出東コミュニティセンターホームページから環境活動助成金交付申請書をダウンロードすることができるほか、コミセン窓口でもお渡しします。ぜひ地域の活動にご活用ください。

おねがい ペットボトルキャップ回収事業について



環境保全連合会出東支部では、資源の再利用や環境保護、ワクチン支援活動の一環として、令和7年4月からペットボトルキャップの回収を行っています。皆さまのご協力により、この1年間で約35kgのキャップが集まりました。このキャップは神奈川県回収会社へ送り、リサイクルされるほか、世界の子どもたちへのワクチン購入の支援などに役立てられます。土・日曜日開設のリサイクルステーション(8:30〜17:00)で回収を行っています。引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。

The Voice

～ 皆さんからの声 ～

交通インフラが整い、電車やバスが主な移動手段。道の両隣には様々なお店が並び、買い物、外食、カフェ選びに困る事はない。地域住民で街の発展に考えを巡らす事はないが、変革は遂げて行く。そんな『都会』に住み続け、20年以上が経っていた。

時を経て出東に戻り見たもの。それは地域住民が街の発展と安全のために尽力している姿。その結果生まれる深い人間関係や、懐かしくも変わらぬ風景。

生活インフラが整備されている『都会』と比べると、利便性に欠ける部分はあるが、人との関りは強く感じることが出来る。それが『地方』である出東の強みなのかもしれない。

私も変わらぬ風景を見せ続けられるよう、街の発展と安全に尽力したいと思う。

(中洲 40代 男性)

●皆さんの声を募集しています!!

ご寄付お礼

皆様から寄せいただきましたお志は、出東地区自治協会を通じ地域の福祉事業に活用させていただいております。

香典返し 金一封	古川 裕史 様(黒目新田)
香典返し 金一封	古川 猛 様(上黒目)
香典返し 金一封	高木 克彦 様(東部)
香典返し 金一封	奥村 充広 様(中洲中組)
香典返し 金一封	常松 光子 様(一本松)
香典返し 金一封	古川 誠子 様(上黒目)
香典返し 金一封	三宅 幸恵 様(中洲中組)

ご厚志誠にありがとうございました。